

事業名	高等教育機関等活用事業
-----	-------------

総事業費	3,619 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	計画的で効率的な行政運営の推進
	基本事業名	広域的な取組の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	①流出を防ぐ。(若年層の人口を確保する) ②種子島での教育の機会を与える。	
事業の実績と成果	取組内容	地元で高校を存続させる取組としてアパート代・バイク通学・検定料助成を行った。また、島外から生徒を呼び込むため、地域みらい留学プラットフォームに参画し、関係者による検討委員会を行った。また、住まいの確保について、民間活力導入や寄宿舍設置の検討、下宿の掘り起しを行った。 看護学校のサテライト教室設置検討について、原田学園、医療センターと連携して検討した。国への特区申請、県関係課協議、事務レベル協議を実施。
	成果	バイク通学、検定試験、アパート代、バス代の補助金支給を行った。支援制度について、引き続き、積極的なPRを行っていく。また、関係者で構成する検討委員会を行ったことにより、中学校と高校、行政の連携を図ることができた。しかしながら、寄宿舍を年度内に設置することができず、みらい留学について積極的な呼び込みができなかった。 看護学校サテライト教室設置のため、3者で課題や方向性などを共通認識することができ、解決策やスケジューリングなどR8、4月開校への道筋をたてることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題(事業担当者記入)	みらい留学実施については、住まいの整備が第1の課題であり、寄宿舍の運営方法等の検討を行う。財源確保についても検討する。 サテライト教室検討では、教室場所の整備、財政負担、実習受入れ体制の整理、奨学金制度など、財源の確保が課題となる。
評価結果の根拠及び今後の課題(担当課長記入)	島外進学者の増加や看護師不足といった課題への対応を多角的かつ着実に実施してきている。人口減少や少子高齢化を起因とする中において放置できない課題であり、市民等の理解を得ながら推進していく必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	サテライト教室検討では、教室場所の整備、財政負担、実習受入れ体制の整理が今年度の協議のメインになる。また奨学金制度など、看護師確保と定着に向けた仕組みづくりも重要となってくる。 (高等学校魅力化支援事業については、R6年度から「高等学校魅力化支援事業」に分割する)
-----------	---